



Silk Performer 18.0

SOA Edition リリース ノート

Micro Focus
The Lawn
22-30 Old Bath Road
Newbury, Berkshire RG14 1QN
UK
<http://www.microfocus.com>

Copyright © Micro Focus 2017. All rights reserved.

MICRO FOCUS, Micro Focus ロゴ及び Silk Performer は Micro Focus IP Development Limited またはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

2017-06-07

目次

Silk Performer 18.0 リリース ノート	4
システム要件	5
インストール	7
Silk Performer18.0 の新機能	8
機能テスト資産をパフォーマンス テストで使用する	8
操作開始時間	8
レポートと分析の強化	9
全般的な強化	9
Web プロトコル レベル機能の強化	10
使用技術の更新	11
CloudBurst の強化	11
解決済みの問題	12
既知の問題	14
更新と SupportLine	15
Micro Focus へのお問い合わせ	15
Micro Focus SupportLine が必要とする情報	15
Silk Performer のライセンス	16
テスト済みソフトウェア	18

Silk Performer 18.0 リリースノート

これらのリリースノートでは、ヘルプには表示されない場合もある情報について説明します。製品をインストールする前に、これらのリリースノート全体をお読みください。



注: このドキュメントには、外部の Web サイトへのリンクが多く記載されています。Micro Focus は、これらの Web サイトのコンテンツまたはそのサイトがリンクするいかなるサイトのコンテンツについて、責任を負うものではありません。当社では、リンクを常に最新状態に維持することを試みっていますが、Web サイトはその性質上、急に変更されることがあります。このため、当社は、Web サイトの予期したとおりの動作を常に保証するものではありません。

システム要件

以下の表は、Silk Performer をインストールおよび実行するための、システム要件を示したものです。Silk Performer のパフォーマンスとスケーラビリティの詳細については、「パフォーマンスおよびスケーラビリティのマトリクス」を参照してください。

ハードウェア要件

Silk Performer のエージェント ソフトウェア、もしくはコントローラとエージェントの両ソフトウェアを実行し、大規模負荷テストを実行するために Silk Performer のポテンシャルを最大限に利用するには、お持ちのシステムが次の最小要件を満たしている必要があります。自作機 (ベアボーンキット、ショップブランド機を含む) は動作保証外です。

システム領域	要件
プロセッサ	Intel Core 2 Duo、または同等の CPU
RAM	4 GB 推奨 (最小)
ハードディスク領域	コントローラ ソフトウェア インストールに 2.1 GB エージェントのみをインストールする場合に 1 GB 行う負荷テストのサイズに応じて、その結果ファイルのための十分な空き容量がお使いのハードディスク上にあるかどうか確認してください。
ネットワーク	テスト対象システム、および、すべての Silk Performer エージェント コンピュータとのネットワーク接続。

オペレーティング システムの要件

- Silk Performer コントローラと Silk Performer エージェントの両方とも、バージョン 6.1 以降の任意の Windows クライアントまたはサーバー オペレーティング システムにインストールできます。つまり、Silk Performer は、Microsoft Windows 7 以降、または Microsoft Windows Server 2008 R2 以降にインストールできます。
- ネットワーク エミュレーション ドライバのインストールは、現時点では Microsoft Windows 10 と Microsoft Windows Server 2016 をサポートしません。

ソフトウェア要件

Silk Performer をインストールし、実行するには、お持ちのシステムに、最小限のソフトウェア コンポーネント群が必要となります。

必要とされるコンポーネントは、インストールの種類によって異なります。たとえば、Silk Performer Java Explorer を実行するには、適切な Java Development Kit がシステムにインストールされている必要があります。それぞれの Web サイトからコンポーネントをダウンロードしてください。

- ブラウザ駆動型負荷テスト用の Internet Explorer 10、11
- ドキュメント参照用の PDF ビューア
- Citrix Receiver (Microsoft Windows 3.x、4.x (4.4 を除く) 用) (Citrix アプリケーションのテスト用) Citrix Receiver 4.4 には問題があるため、動作しません。
- Java Development Kit 7、8 (32 ビット) (Java Explorer を使用した Java アプリケーションのテスト用)
- Visual Studio 2013 または 2015 (Visual Studio Add-in 用)。Visual Studio 2012 を使用するには、Visual Studio 2013 もインストールされている必要があります。

マルチユーザー システム上での Silk Performer での作業

Silk Performer を、マルチユーザーによるアクセスを有効にしたターミナル サービスを提供するマシンにインストールできます。一般に、複数のセッションを同時に作業することは推奨されません。それでも作業する必要がある場合には、次の点にご注意ください。

- **記録:** Silk Performer Recorder はシステム全体のフック機構を使用します。あるユーザーが Recorder を開始すると、すべてのほかのユーザーのトラフィックも同様に記録される可能性があります。
- **Workbench :** 複数のユーザーが同時に異なるプロジェクトで作業することができます。同じプロジェクトで作業することは推奨されません。2 番目以降のユーザーに対しては、プロジェクトは読み取り専用モードで開かれます。
- **テストの実行 :** 複数のユーザーが 1 つのマシンから同時にテストを実行できます。ただし、テストを同時に複数実行すると、同じリソース (CPU、メモリ、ネットワークバンド幅) を共有するため、互いに影響を与えます。
- **テストの監視 :** Performance Explorer は、テストを実行している複数のテスト測定値間の違いを区別できません。よって、誤ったテストのリアルタイム値が表示される可能性があります。

インストール

インストール、デプロイメント、およびライセンス管理に関する情報については、『[Silk Performer インストールヘルプ](#)』を参照してください。

Silk Performer18.0 の新機能

Silk Performer18.0 では、大幅な機能強化と変更が行われました。

機能テスト資産をパフォーマンステストで使用する

ソフトウェア業界では、開発サイクルとリリースサイクルの加速化が急務となっています。リリースサイクルがより頻繁で短くなることにより、すべてのテスト作業も短時間で終わらなければならなくなりました。Silk Performer は、既存の機能テストをパフォーマンステストや監視目的に再利用できるようにすることで、テストサイクルのスピードを大幅に上げる手段を提供します。Silk Performer 18.0 では、Silk Test テスト資産を簡単にインポートできる機能を追加し、さらに、GUI レベルのテストでキーワード駆動テストも使用できるようになりました。

すべてのテスト資産に共通の Silk Test プロジェクトの種類

Silk Performer の GUI レベルの負荷テストでは、Silk4J、Silk4NET、Silk Test Classic のテスト資産を使用できます。さらに、キーワード駆動テストも使用できるようになりました。使用している Silk Test テスト資産の種類に関係なく、Silk Performer の単一の Silk Test プロジェクトの種類がすべてに対して使用されるようになりました。

Silk Test からのインポートの単純化

Silk Performer では、既存の機能テストをパフォーマンステストに再利用する場合に、テスト資産を簡単にインポートできるようになりました。Silk Performer は Silk Test のさまざまなテスト資産（Silk4J、Silk4NET、Silk Test Classic、キーワード駆動テスト）をサポートします。インポートウィザードは自動的にテストの種類を検出し、適切な BDL スタブを生成します。パラメータを含んだキーワード駆動テストをインポートすると、Silk Performer は .csv ファイルを作成し、パラメータ処理を行うこともできます。

単一セッションの GUI レベルのテスト

Chrome、Firefox、PhantomJS を使用した Web アプリケーションに対するブラウザ駆動型テストで、Silk Performer はすべての仮想ユーザーを単一の Windows セッションで実行できるようになりました。このメリットとして、リモートデスクトップライセンスが不要なこと、仮想ユーザーごとのリソース消費が従来の GUI レベルのテストでのアプローチと比較して大幅に低いことが上げられます。通常の GUI レベルのテストの場合と同様に、Silk Test テスト資産を実行するすべてのエージェント上に Silk Test をインストールする必要があります。

操作開始時間

今日の Web サイトと Web アプリケーションのほぼすべてが、スマートフォン、タブレット、そして従来のデスクトップコンピュータなどのさまざまなデバイスからアクセスされます。モバイルデバイスの利用が拡大する傾向にあるため、Web 開発においても多くの変更が必要になっています。開発者は、多くの静的なページを複数用意するのではなく、ページの終わりに到達するたびに内容を読み込むような、長いページを実装する傾向にあります。これにより、かつてパフォーマンステストの重要な指標であったページロード時間は、だんだん廃れてきました。今日では、Web ページの感覚的なロード時間が、測定したロード時間とかなり異なる場合があります。現代の Web サイトと Web アプリケーションのテストを容易にするために、Silk Performer に操作開始時間（TTI：Time to Interact）を導入しました。

Silk Performer の用語では、操作開始時間を、リクエストの開始からユーザーがページを操作するのに不可欠なすべての要素が準備完了になるまでの時間（ページのロードがまだ完了していない場合でも）として

定義します。TTI の概念により、テスト担当者は、マーケティングや UX 担当者と協力して、ページ上などの要素がユーザーの操作に関連しているのか、または重要であるのかを考慮して定義できます。

Browser Application で TTI 関連要素として要素にタグ付けすると、TrueLog Explorer にその詳細な時間と、ヒートマップ（タグ付けされた要素が遅れているかどうかを、色分けした矩形領域で表示）が表示されます。

レポートと分析の強化

パフォーマンス レベル レポート

Silk Performer 18.0 では、パフォーマンス レベル レポートが追加され、負荷テストの成功/失敗の判断をすばやく簡単に行えるようになりました。パフォーマンス レベル レポートを継続的テスト環境で使用すると、負荷テストの評価を自動化し、大幅に効率をあげることができるため、特に有用です。

パフォーマンス レベルを定義し、それらを負荷テストの主要な測定値に割り当てたら、Silk Performer の概要レポートには、各パフォーマンス レベルの結果が色分けして表示されます。パフォーマンス レベルを満たしているものは緑で、満たさないものは赤で表示されます。

概要レポートでのパーセンタイルの表示/非表示

Performance Explorer の概要レポートで、個々のパーセンタイル カテゴリの表示/非表示の切り替えをカスタマイズできるようになりました。この機能は、HTML 概要レポートと Word 概要レポートの両方に対して有効です。

TrueLog Explorer の検索機能の強化

TrueLog Explorer の検索機能は、すべてのテクノロジーに対して一貫したダイアログを提供するようになりました。検索ダイアログの基本的な機能はもちろん、強力な機能を使用して、開いているすべての TrueLog、現在の TrueLog、現在のノードで文字列を検索することができます。ノード名やノード情報に加えて、**情報** ペインのさまざまなタブ（**受信ヘッダー**、**送信ヘッダー**、**受信本文**、**送信本文** など）も検索対象に指定できます。

TrueLog On Error のスクリーンショット履歴

プロトコルレベルのテストと同様に、UI レベル テクノロジーのブラウザ駆動型テスト、SAPGUI、Citrix での TrueLog On Error でも、連続したスクリーンショットを取得できるようになりました。これらのスクリーンショットは、ユーザーがエラーの原因となるアクションを分析する際に役立ちます。

全般的な強化

セキュア ブートなマシンでの記録

Silk Performer に新しいフック機構が導入され、UEFI のセキュア ブート が有効になっているマシン上で記録できるようになりました。新しい DLL インジェクション機構は、従来のフック機構が特定のアプリケーションに対して機能しない場合に、アプリケーション プロファイル設定で有効にすることもできます。

ワークロードの初期化

Silk Performer 18.0 では、複数のユーザー タイプに対して同じワークロード設定を一度にすばやく簡単に指定できるようになりました。数多くのユーザー タイプが定義されていて、ワークロードの設定がほとんど同じ場合に、この機能は特に役立ちます。Microsoft Excel のようなスプレッドシート アプリケーションでワークロード設定を定義し、そこから値をコピーして初期化ダイアログに貼り付けることもできます。これにより、ワークロード設定の処理は今まで以上に簡単になります。

エージェントプールからのリモートインストールとアップグレード

特定のエージェント コンピュータの Silk Performer エージェントのインストールを、エージェント プールから直接簡単にアップグレードできるようになりました。エージェント コンピュータの Silk Performer を新しいバージョンにアップグレードする作業を、Silk Performer 内から行うことができます。エージェント プールでエージェント コンピュータを選択し、**エージェントのアップグレード** をクリックし、インストーラのディレクトリとエージェント コンピュータの資格情報を指定してインストールを開始します。

新しいカウンタ：実行中のユーザー

Silk Performer 18.0 に **実行中のユーザー** という新しいカウンタが追加されました。このカウンタには、開始されたが停止されていないユーザーの数が反映されます。アクティブ ユーザー カウンタと異なり、キュー待ち、ユーザー待ち、停止待ち、ペーシング時間のいずれかの状態にある仮想ユーザーも含まれます。

UI を持たないエージェント プロセス

Silk Performer は、UI を持たないエージェント プロセスを提供するようになりました。負荷テストの実行時、エージェント プロセスはコマンド ライン アプリケーションとしてバックグラウンドで動作します。

TrueLog のコンテンツ ログ

Silk Performer 18.0 のブラウザ駆動型テストのエンジンは、TrueLog に出力するための統計情報として、受信本文と送信本文をキャプチャできるようになりました。

Web プロトコル レベル機能の強化

バイナリの大きなデータ ブロックの外部化

Web アプリケーションでは、バイナリの大きなデータ ブロックがブラウザからサーバーに送信されることがあります。スクリプトの可読性を保つため、Silk Performer 18.0 のスクリプト生成プログラムは、このようなデータ ブロックをスクリプトではなくファイルに保存するようになりました。

TrueLog セクションの自動作成

トランザクションを記録すると、Silk Performer はスクリプトに TrueLogSection 関数を自動的に追加するようになりました。生成した TrueLog のツリーには、そのセクションが表示されます。TrueLog セクションによってスクリプトがより小さな（名前付きの）部分に論理的に分割されることによって、複雑な TrueLog ツリーが読みやすくなります。

HTML パーサーの改善による WebPageAddUrl 関数の減少

スクリプト生成時に HTML パーサーによって自動的に検出できないリソースが WebPageAddUrl 関数呼び出しを使用してページ リクエストに追加されます。Silk Performer 18.0 では、HTML パーサー機能の改善により（とくに HTML 5 に対して）、このような関数呼び出しの数が大幅に減少しました。

UDP トラフィックのフィルタ

Silk Performer では、スクリプトから UDP トラフィックを除外できるようになりました。**UDP トラフィックを除外する** チェック ボックスが **キャプチャ ファイル** ページに表示されます。通常 UDP トラフィックを記録する必要は無いため、デフォルトで有効になっています。ブラウザや Web アプリケーションは、デバイスやサービスの検出に UDP を使用することがよくあります。スクリプトに UDP 関数を含めるには、フィルタを無効にしてください。

使用技術の更新

Citrix StoreFront のサポート

Silk Performer は、Citrix StoreFront/Netscaler Gateway から起動した Citrix アプリケーションをサポートするようになりました。

Remedy 9.1 SP2 のサポート

Silk Performer は、Remedy 9.1 SP2 をサポートするようになりました。

SNMP MIB のサポートの更新

SNMP MIB パーサーが最新版にアップグレードされました。

OpenSSL のアップグレード

OpenSSL がバージョン 1.1.0e にアップグレードされました。

CloudBurst の強化

新しいクラウド地域 : オハイオ

CloudBurst では、次の新しい AWS の地域を提供するようになりました : Ohio。

解決済みの問題

以下の問題が、Silk Performer 18.0 で修正されました。

SI #	RPI #	説明
	625181	Silk Performer 17.5 でランダム変数のパラメータ ウィザードを使用すると、ローカル マシン上のファイルをハードコードしたパスを持つファイル宣言が作成される。
	623998	Performance Explorer のグラフを HTML または MHT ファイルとしてエクスポートできない。 グラフ タブで HTML としてエクスポート をクリックしても HTML ファイルは生成されません。 MHT としてエクスポート をクリックすると、生成された MHT ファイルを開けません。
2849834	617872	ヘルプ トピック「Windows パフォーマンス監視のトラブルシューティング」に Windows オペレーティング システムの最新のバージョンが含まれていない。
2866863	1106530	HTML 概要レポートで、パーセンタイルの上限を最大値より大きくすることができない。
2867947	1105949	ShopItV60 をインストールすると、ASP を手動で IIS に追加する必要がある。
2868384	1107889	TrueLog Explorer をサイレント モードでインストールすると、ファイルが見つからずにインストールがハングする。
2868384	1105633	TrueLog Explorer のサイレント モード インストールで使用できるパラメータに関する情報が十分でない。
2870007	1105992	Silk Performer の前のバージョンをアンインストールすると、Silk Performer のファイルの種類に関連付けが保持されない。
2871137	1106163	Silk Performer で LAN エージェントを追加 をクリックすると、エージェント マシンのリストが正しい値を表示しない。開くたびにその値が異なります。
2872390	1106281	OraBindCursor() 関数に追加のパラメータを指定するとコンパイル エラーになる。
2873491	1106403	Word 概要レポートを作成できない。
2875332	622963	プロジェクトを C ドライブにエクスポートすると、検証エラー メッセージが誤って表示される。
2877718	1106952	TrueLog Explorer で値をカスタマイズするときに、次のエラーが発生する: BDL スクリプトの関数呼び出しをカスタマイズできません。
2878058	1107026	Silk Central/Silk Performer Integration Guide の内容が古すぎる。
2878089	1107557	少量の結果データしかない単純なテストでも変位データのマージに時間がかかる。
2878696	1107350	Performance Explorer のグラフを HTML ファイルとしてエクスポートすると、エクスポートしたファイルに多数の不要な空白が挿入される。
2879382	623671	Citrix XenApp サポートのドキュメントに一部の問題が記述されているが完全ではない。
2880141	1107979	マルチセッションでの再生についての詳細なドキュメントを提供してほしい。
2881618	1107630	負荷テストを強制終了または中止すると、TrueLog ファイルが作成されない。
2882980	1107824	.NET 単体テストがリターン コードを誤って変更する。
2882984	1107950	DotNetSetOption() 関数を使用すると .NET テストが失敗する。
2883397	625351	実行中に perfbrowserhost.exe が JavaScript コマンドによって開かれた子ウィンドウを誤って閉じ、シャットダウンする。

SI #	RPI #	説明
2883836	1107991	TrueLog on Error ファイルが 0 バイトのファイル サイズを表示し、多くの予期しないファイルが結果フォルダに表示される。
2884042	1108729	Silk Performer 16.5 と Java 1.7、または Silk Performer 17.5 と Java 1.8 を使用して Oracle Forms アプリケーションを記録すると、Java セキュリティ警告が表示される。
2884388	1107952	FileGetNextUniqueRow() 関数を使用したスクリプトを Silk Performer 17.5 および 17.0 で実行すると、以前のバージョンの Silk Performer での実行と比較して大幅に遅くなる。
2884389	1107925	FileGetNextUniqueRow() 関数を含んだ、プロジェクトに関係ないデータ ファイルを参照するスクリプトを実行するとハングする。
2884466	1108029	ブラウザ駆動テストの記録時にリンクをクリックして新しいウィンドウを開くと、空のページが開かれる。
2884938	1108028	ローカルホストのエージェントの機能を変更できない。
2885052	625679	キャプチャ ファイル ページに予期しないエラーが表示される。
2912339	1108720	perfBrowserHost を再起動するとハンドルとメモリがリークする。
2913002	1108550	Credit Calculator によって提示された UI 駆動テスト用の見積もりエージェント数が正しくない。
2913202	1108504	以前のバージョンの Silk Performer で完全に機能していたスクリプトを実行すると、perfrun.exe とワークベンチがクラッシュする。
2913491	1108642	プロファイル名に非 ASCII 文字を使用すると次のエラー メッセージが表示される：記録用に perfBrowserRecorderDll_x86.dll を読み込むことができません。
2988350	1109092	perfBrowserHost の応答がなくなったときに、Silk Performer は応答性の値を下げるが、perfBrowserHost が復旧しても値が上がらない。
2991115	1108828	MeasureSetFloat 関数を使用するとエージェント プロセスが不適切に終了する。
2991161	1108811	SSL 検査が Silk Performer コントローラとエージェント間の通信の脆弱性をレポートする。
3100345	1108957	.xlg ファイルを開くときに TrueLog Explorer がクラッシュする。
3101594	1109048	大量のデータを受信すると PerfRun.exe がクラッシュする。
3102353	627806	Silk Performer を Microsoft Windows Server 2016 のマシン上にインストールすると、Silk Performer 受信規則がファイアウォール設定で見つからない。
3102542	1109248	Microsoft の C++ ランタイム 14.0 の atof 関数の変更により、結果の表示上の問題が発生する。これは、文字列を浮動小数に変換するときの動作がことなることが原因です。
3103087	1109182	BDL 関数 Silk4JExecuteTestcase の sTimer パラメータが概要レポートに表示されない。Silk Test のバージョンを更新する必要があります。
3104257	1109404	.xlg ファイルを開くときに TrueLog Explorer がクラッシュする。
3105178	1109295	18 時間かかる負荷テスト中にクラッシュ ダンプが生成される。

既知の問題

既知の問題とその解決策の一覧は、次のオンライン ヘルプから参照できます：<http://documentation.microfocus.com> [既知の問題](#)

更新と SupportLine

当 Web サイトでは、最新の問い合わせ電話番号および住所の詳細を提供しています。

Micro Focus へのお問い合わせ

Micro Focus は、世界的規模のテクニカル サポートおよびコンサルティング サービスを提供します。すべての顧客のビジネスを成功に導くために、信頼できるサービスをタイムリーに提供するように、Micro Focus はワールドワイドのサポート体制を整えています。

保守およびサポート契約を結んだすべてのお客様、および製品を評価中のお客様は、カスタマー サポートを受けることができます。高度なトレーニングを積んだスタッフが、お客様の質問にできる限り迅速かつ専門的に応えます。

<http://supportline.microfocus.com/assistedservices.asp> にアクセスするか、またはメールを supportline@microfocus.com に送信して、Micro Focus SupportLine と直接連絡できます。

また、<http://supportline.microfocus.com> の Micro Focus SupportLine では、最新のサポートに関するニュースや、さまざまなサポート情報を得ることができます。このサイトに初めてアクセスした場合は、ユーザー登録が必要な場合があります。

Micro Focus SupportLine が必要とする情報

Micro Focus SupportLine をご利用の場合は、可能な限り次の情報を提供ください。情報が多ければ多いほど、Micro Focus SupportLine はお客様に適切なサービスを提供できます。

- 問題の原因と思われるすべての製品の名前およびバージョン番号
- 使用しているコンピュータの製造元およびモデル
- システム情報 (オペレーティング システムの名前やバージョン、プロセッサやメモリの詳細など)
- 問題の詳細な説明 (問題の再現手順など)
- 発生したエラー メッセージ
- お客様のシリアル番号

これらの番号は、Micro Focus から受け取った Electronic Product Delivery Notice 電子メールの件名および本文に記述されています。

Silk Performer のライセンス

Silk Performer のライセンス モデルは、仮想ユーザー (VUser) に基づきます。

Silk Performer Workbench を起動して使用するためのライセンスは必要ありません。ライセンスが無くても、スクリプトを作成したり、カスタマイズしたり、負荷テストの設定を変更することができます。また、スクリプトの試行やベースラインの実行などの 1 つの仮想ユーザーのみの実行にも、ライセンスは必要ありません。

負荷テストの実行を開始すると、実行に使用される仮想ユーザーに対してライセンスが必要になります。

Silk Performer には、2 種類のライセンス モデルがあります。

- オンプレミス ライセンス
- オンライン ライセンス

以前のバージョンの Silk Performer からアップグレードした場合、新しいバージョンで負荷テストを実行するには、新しいライセンスが必要です。アップグレードの過程では、90 日間古いライセンスを使用できます。

Silk Performer には、3 種類の仮想ユーザー タイプがあります。それぞれのタイプでさまざまなアプリケーションの種類をシミュレートできます。

- Web
- Standard
- Premium

VUser タイプ	アプリケーションの種類
Web	Web ブラウザ駆動 GUI レベル テスト (選択した Web ブラウザを使用した単一セッション モード) HTTP(S) (Web ブラウザ低レベル) HTTP(S)/HTML (Web ブラウザ高レベル) HTTP(S)/XML (Web サービス, SOAP) HTTP ライブ ストリーミング (HLS) Silverlight モバイル SAP NetWeaver WebDAV (MS Outlook Web Access) 電子メール (SMTP/POP) FTP TCP/IP UDP AMF0/AMF3/FLEX DLL インターフェイス
Standard	Web すべてとそれに加えて : .Net Add-On


VUser タイプ	アプリケーションの種類
Premium	Java Add-On DB2-CLI Add-On OCI Add-On ODBC Add-On Visual Basic Add-On (Framework) ディレクトリ サーバー (LDAP) CORBA Add-On 標準 すべてとそれに加えて : GUI レベルテスト (Silk4J、Silk4NET、Silk Test Classic) Remedy Web ARS SAPGUI Add-On forSilk Performer Oracle Applications/Forms Add-On PeopleSoft Add-On Siebel Add-On Citrix Add-On ターミナルエミュレーション (グリーン スクリーン) Add-On Tuxedo/ATMI Add-On

テスト済みソフトウェア

このセクションでは、Silk Performer がテストされたソフトウェアの一覧を示します。

一覧されたソフトウェアは、サポートされるテクノロジーとしては完全なものですが、製品とバージョンとしてはこれらがすべてではありません。

システム領域	テスト対象
オペレーティング システム	<ul style="list-style-type: none">• Microsoft Windows Server 2008 R2• Microsoft Windows Server 2012• Microsoft Windows Server 2012 R2• Microsoft Windows Server 2016• Microsoft Windows 7 32/64 ビット• Microsoft Windows 8 32/64 ビット• Microsoft Windows 8.1 32/64 ビット• Microsoft Windows 10 32/64 ビット
Web ブラウザ	<p>プロトコルベースの負荷テストの場合 :</p> <ul style="list-style-type: none">• Internet Explorer• Mozilla Firefox• Google Chrome• Apple Safari <p>ブラウザ駆動型負荷テストの場合 :</p> <ul style="list-style-type: none">• Internet Explorer 10、11 <p>単一セッション モードの GUI レベルのテストの場合 :</p> <ul style="list-style-type: none">• Mozilla Firefox• Google Chrome• PhantomJS
SOAP スタック	<ul style="list-style-type: none">• Microsoft SOAP Toolkit 2.0 サービス パック 2 (SP2)、Internet Information Server 5• Apache-SOAP バージョン 2.1、TOMCAT バージョン 3.1
Web サービス フレームワーク	<ul style="list-style-type: none">• Axis 1.x• Axis2 1.4、1.5、1.6• GlassFish Metro 1.5• Apache CXF 3.1.4
Java サポート	<ul style="list-style-type: none">• Java Development Kit 7、8• IBM Java Development Kit• Eclipse
.NET ベースのテクノロジー	<ul style="list-style-type: none">• Microsoft .NET Framework 2.0、3.0、3.5、4.0、4.5、4.6• Microsoft Visual Studio 2013、2015• WCF Web サービス

システム領域	テスト対象
リッチインターネットアプリケーション (Web 2.0)	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Silverlight 4、5 • Apache Flex 2、3、4 • GraniteDS 2.3.2 • BlazeDS 3.2.0 • Google Web Toolkit • ExtJS • Eclipse RAP • script.aculo.us
SNMP	<ul style="list-style-type: none"> • SNMPv2-MIB • RFC1213-MIB • RDBMS-MIB • ORADB-MIB • httpServer-MIB • ftpServer-MIB • SUN-MIB • BEA-WEBLOGIC-MIB • APPSRV_MIB (NetDynamics) • SQUID-MIB
	<p> 注: Web 上で RFC およびベンダーの MIB を検索するには、インターネット技術タスクフォース を参照してください。</p>
ファイアウォール トンネリングのためのプロキシサーバー	<ul style="list-style-type: none"> • WinGate • Squid • Dante • Microsoft ISA Server